

校長室だより

丹波市立大路小学校

校長通信

令和8年7月号



大路JHP



【学校教育目標】

ふるさと大路を愛し 夢を求めて挑戦し続ける 大路っ子の育成

～ ふるさと大路の輝く太陽になろう ～

【めざす児童像】

- 1 チャレンジ 夢や希望を持ち、何事にも前向きにチャレンジする子
- 4 ふるさと ふるさと大路を愛し、地域に誇りを持つ子



ふるさと大路の偉人について

～ 学校朝会 校長先生の話 ～



7月7日（火）学校朝会「校長先生の話」で、ふるさと大路の偉人について、全校生に話をしました。

丹波新聞社の創設者、小田嘉市郎^{おだ かいちろう}（1889～1971）さんは、今から137年前、明治22年（1889年）下三井庄で生まれました。テレビもインターネットもない明治時代に、「丹波のことをもっとみんなに知ってほしい！元気にしたい！」という熱い思いで新聞を作り始めました。また、新聞を作るだけでなく、まちの発展のために命がけで働きました。みんなが勉強できるように学校を新しく建てる手伝いをし、遠くの街とつながる鉄道を丹波に通すために、自分の時間を費やしました。常に「みんなのため、地域のため」に働いた人でした。

なぜ、嘉市郎さんはそこまでがんばれたのでしょうか。理由は2つあります。1つは、自分が生まれ育った丹波という「ふるさとを愛する心」が強かったこと。そしてもう1つは、どんなに難しい壁にぶつかっても、決して「あきらめずにやり抜く力」を持っていたことです。

なぜ、嘉市郎さんはそこまでがんばれたのでしょうか。理由は2つあります。1つは、自分が生まれ育った丹波という「ふるさとを愛する心」が強かったこと。そしてもう1つは、どんなに難しい壁にぶつかっても、決して「あきらめずにやり抜く力」を持っていたことです。

さて、この話を聞いて、大路っ子にできることは何でしょう？

大路っ子にできること！

- ① ふるさと大路を愛する心を持つ
- ② あきらめずにチャレンジする
- ③ 人とのつながりを大切にする

そして、小田嘉市郎さんの自伝「権太くされ」という本を紹介しました。児童玄関に置き、いつでも子ども達が手に取って読めるようにしています。

地域の宝である大路っ子、ふるさと大路の輝く太陽である大路っ子たちが、ふるさと大路を愛し、地域を誇りに思い、健やかに成長するよう、「チーム大路」教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。地域・保護者の皆様、ご支援よろしく願いいたします。

文責 廣瀬 ゆかり

